

## 2017-2018 年度 第二回中間報告書

(報告期間 2017 年 11 月 18 日～2018 年 2 月 12 日)

国際ロータリー第 2710 地区

グローバル補助金奨学生

小田佳世

◆ 報告書提出日：2018 年 2 月 12 日

◆ 基本情報

派遣クラブ：広島中央ロータリークラブ

カウンセラー：古澤宰治様

受け入れクラブ：Monterey Pacific Rotary Club

カウンセラー：Ms. Lisa Luscombe

教育機関：Middlebury Institute of International Studies at Monterey (MIIS)

専攻：MA in Nonproliferation and Terrorism Studies

## 1. 学業面での成果

2017年度秋学期の成績は以下の通りです。

- 大量破壊兵器入門（必須）：A-
- 安全保障における研究と分析入門（必須）：A
- アラビア語 中級2：A
- シミュレーション：A
- 中央アジアの政治とイスラム教：Pass（週末ワークショップのためPass/Failのみ）
- イスラム教とその原理：Pass（週末ワークショップのためPass/Failのみ）

久々の学業復帰ということで緊張していたのですが、秋学期は概ね良い成績を収めることができ、ひとまずホッとしています。特に大きな励みになったのが、前回報告書記載の「シミュレーション」クラスで良い評価を頂いたことです。その縁もあり、春学期からは、「シミュレーション」クラスの教授がディレクターを務める核不拡散センターで研究助手として勤務しています。また、同じく春学期から、校内クラブの一つである包括的核実験禁止条約機構青年部に所属しています。授業のみならず、クラブ活動、研究助手、講演会への参加など、様々な形で研究分野に携われることを、とても幸運に思っています。

余談にはなりますが、昨年12月には、核兵器禁止条約交渉会議の議長を務めたコスタリカのエレイン・ホワイト大使が11月29・30日に広島市で行われた国連軍縮会議から直接モントレールに駆けつけてくださり、「シミュレーション」クラスに参加して下さいました。



シミュレーションクラスの様子



夕食会にてホワイト大使と

授業後、教授の主催する小規模な食事会で、今後の核兵器禁止条約への展望や課題、条約採択に至るまでの道のりなどについて伺うことができ、私が広島人として核兵器問題に関わって行く上での課題について再度考えさせられる、良い経験になりました。

2017 年度春学期に受講しているクラスは以下の通りです。

- 核不拡散分野における科学と技術（必須）
- 北東アジアにおける安全保障と軍備管理
- アラビア語 中級 3
- 核不拡散分野における資金調達
- 国際的危機における交渉の実践（週末ワークショップ）
- 人身売買（週末ワークショップ）
- Policy Memo の書き方、読み方（週末ワークショップ）

「北東アジアにおける安全保障と軍備管理」のクラスについて、少しお話します。このクラスでは、毎週異なるトピックに纏わる Policy Memo（政策提言書）や関係者の日記などの一次文献を当時の政治的状況を踏まえて読解し、議論を交わすのですが、第1週目のトピックが「広島への原爆投下」でした。課題資料としてアメリカ国内の科学者や政治家たちが交わした文献を多く読み、解説を受け、クラスメートと議論を交わしたことで、「広島への原爆投下」について、これまでと異なる角度からアプローチし、理解を深めることができました。文献の中でも特に興味深かったのが、 فرانクレポートを書いた科学者たちが所属していたシカゴ大学冶金研究所の所長、アーサー・コンプトン氏の回顧録です。他の多くの文献と照らし合わせると、幾つもの矛盾が浮き彫りになり、コンプトン氏が自身の保身もしくは良心の呵責から、事実と反する回顧録を書いたであろうことが分かりました。今後、このような新しい解釈や、当時の政治的背景などを、朝鮮戦争、台湾と核兵器、北朝鮮の核開発など、12のトピックについて学んでいく予定であり、とても楽しみにしています。

## 2. 受け入れロータリークラブとの関わり

前回報告時に引き続き、受け入れロータリークラブの方々には公私ともにお世話になっており、頻繁にお食事などもご一緒させて頂いています。

感謝祭休暇の際には、東海岸から訪ねてきた友人たちも一緒にロータリアンの方のご自宅で夕食を囲みました



残念ながら、2017年度春学期も前学期に引き続き週例ミーティングの時間にクラスがあり、週例ミーティングには参加できていないのですが、ボランティア活動やイベント等、参加できるものには参加するようにしています。



感謝祭前日には貧困層の家庭に配付する感謝祭ディナー作りのボランティアに参加しました  
(写真右は受け入れクラブの今年度プレジデントの *Diane Camba* 氏)



1月には受け入れクラブが主催する募金集めのためのイベントに、キッチンスタッフ兼フォトグラファーとして参加しました

### 3. 直面した課題、問題点等

昨年8月から居住していたアパートは大学から近い立地と家賃の安さが魅力的だったのですが、諸事情によりあまり好ましい居住スペースではなくなってきたため、1月から住居を移しました。現在は、金融犯罪を専門とする教授と、中国語・英語の通訳翻訳課の生徒と、3人で一軒家に住んでおり、少し大学からは遠くなったものの快適に暮らしています。学業の面については、まだまだ努力が必要だと感じています。英語の非母国語話者として読み書きが遅いのは当たり前ですが、一方で、国際政治や歴史などについての知識が不足していることについては、言い訳のできない私の欠点だと考えています。今後、学生として過ごす中で、研究課題だけではなく一般教養についても見識を深めていきたいと思っています。

### 4. 今後の課題、目標

まずは、今学期、良い成績を収めるべく、日々の課題や予習・復習に真摯に取り組んでいきたいと思っています。今学期は、苦手とする理系科目「核不拡散分野における科学と技術」を受講している他、前回報告書にも記載した日本語課のティーチングアシスタントの仕事、核不拡散センターでの研究助手の仕事、クラブ活動などもあり、忙しくなるであろうと予想されます。限られた時間を無駄にすることなく、周囲の助けも借りながら、一つ一つ課題に取り組んでいきたいと思っています。